

産学交流企画（島大・高専）2018 報告

報告者：青年部 和泉孝嗣（建設部門）

去る平成30年12月1日に、毎年恒例の島根大学・松江工業高等専門学校との「産学交流企画2018」を開催しました。今年度は島根大学地域未来協創本部との共催により、松江市の島根大学の総合理工学部多目的ホールを貸していただき、技術士と学生との交流を図ることが出来ました。

○企画概要

本交流企画では、技術士と学生が協力してテーマに沿った課題解決をすることで、課題解決に必要な能力を学生に身につけてもらうこと、学生が抱える社会人生活の不安に技術士が答えることを目的としています。

参加者は島根大学1~3年生、松江高専5年生、計15人を5班に分け、そこに技術士を1~2名進行役として配置し、班別に以下のとおり企画を進めていきました。

- ・第1部 座学（技術士がどのように課題解決しているか）、社会人への相談タイム
- ・第2部 課題解決、プレゼン資料作成、プレゼン

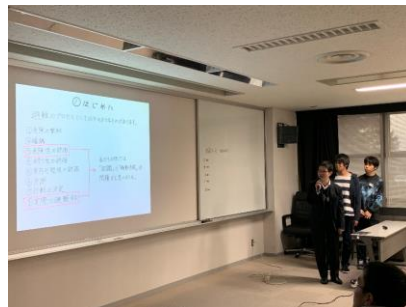
○企画詳細

午前は午後からの課題解決にむけて、課題解決方法について、技術士の役割を交えて、技術士がどのように課題解決しているか座学を行いました。また、昼食時間も含めて学生が技術士に社会に出てからの不安を聴く、社会人への相談タイムも設けました。

午後からは、今年度のテーマを「災害時にどうやったら避難してもらえるか」として、課題解決を行いました。避難対象者を高齢者とし、第1部で学んだ課題解決方法を使って、学生が課題解決の立案、プレゼン資料をまとめました。技術士はサポート役として、学生のアイデアを引き出すフォローや分かりやすいプレゼンのアドバイスなどを行いました。



班ごとに課題解決しました



ipadを使ってプレゼンしました



優秀な解決案は表彰しました

○まとめ

今年度は参加者数が少なかったことで、アットホームな雰囲気の中で学生と技術士の距離が近く、技術士も学生一人一人とじっくり話せたと感じました。今年度は学生へのアンケートも実施したので、それを踏まえて来年度は更に良い企画となるようにしていきたいと思えます。

最後になりましたが、事前打合せから当日の準備・運営まで、技術士会の皆さまに大変お世話になりました。また、参加者募集のため、島大と高専の先生には学生への募集チラシの配布やとりまとめにご協力いただき、本当にありがとうございました。

●参考

各班の課題解決案（※印は表彰）

- 1班 分かりやすく、快適な避難へ
- 2班 人々は何故逃げないのか？ ～認識と移動手段の欠如～
- 3班 SNS以外を用いた避難誘導
- 4班 大丈夫 そう思うのはあなただけ ※聴講賞（最優秀賞）
- 5班 高齢者はなぜ動かないのか ※特別賞（アイデア賞）

参加者数

島根大学	6名
松江高専	9名
技術士	10名
大学・高専教員	5名
合計	30名

タイムスケジュール

- 10:30～ 開会、スケジュール説明
- 10:45～ 技術士の課題解決手法
- 11:10～ 第1部（自己紹介と社会人への質問）
- 12:00～ 昼食
- 13:00～ 第2部（課題解決、プレゼン資料作成（keyNote））
- 15:45～ プレゼン
- 16:45～ 審査、今日のまとめ
- 17:00 閉会